

第3章 諸係数の算出方法

平成7年大阪府地域間産業連関表の諸係数算出方法は、一部、地域内表と相違する部分がある。ここでは、地域内表と相違する部分を中心に簡単に説明する。ここで説明した係数以外の算出方法については、地域内表と同様であるので、「平成7年 大阪府産業連関表(平成12年3月)」の付属資料もあわせて参照していただきたい。

また、3部門の簡易な表での計算例を章末に掲載しているのので、参考にいただきたい。

1. 逆行列係数

産業連関表を式であらわすと 式の形になる。

$$A X + F + E - M = X \dots\dots\dots$$

ただし、A：投入係数、X：生産額、F：地域内最終需要額、E：輸出額、M：輸入額

ここで、輸入について2つの前提を置く。

- ・ 輸入は、地域内需要によって発生する。すなわち、輸出をするために輸入を行なうという中継貿易のような輸入は想定しない。
- ・ 輸入率(輸入/地域内需要)は一定である。

これを数式で表すと、

$$M = \hat{M} (A^* X + F^*) \dots\dots\dots$$

なお、 \hat{M} は地域間輸入係数行列(上記の輸入率を対角行列の形にしたもの)であり、 A^* 、 F^* の添字*は自地域内取引のみをあらわしている。

具体的には次のとおりである。

$$A^* = \begin{bmatrix} A^{11} & A^{12} & A^{13} \\ A^{21} & A^{22} & A^{23} \\ A^{31} & A^{32} & A^{33} \end{bmatrix}^* = \begin{bmatrix} A^{11} & 0 & 0 \\ 0 & A^{22} & 0 \\ 0 & 0 & A^{33} \end{bmatrix}$$

$$F^* = \begin{bmatrix} F^{11} & F^{12} & F^{13} \\ F^{21} & F^{22} & F^{23} \\ F^{31} & F^{32} & F^{33} \end{bmatrix}^* = \begin{bmatrix} F^{11} \\ F^{22} \\ F^{33} \end{bmatrix}$$

ただし、1：大阪府、2：他近畿、3：近畿外

を に代入して整理すれば、

$$[I - (A - \hat{M}A^*)]X = F - \hat{M}F^* + E \text{ となり、}$$

$$X = [I - (A - \hat{M}A^*)]^{-1} \cdot [(F - \hat{M}F^*) + E] \dots\dots\dots \text{ となる。}$$

この $[I - (A - \hat{M}A^*)]^{-1}$ が逆行列係数であり、波及効果の計算は 式を用いることになる。

2. 最終需要項目別生産誘発額

逆行列係数 $[I - (A - \hat{M}A^*)]^{-1} = B$ とすると、

$$X = B[(F - \hat{M}F^*) + E] \\ = BF - B\hat{M}F^* + BE \quad \dots\dots\dots$$

従って、最終需要項目別生産誘発額は 式を計算すれば求まる。なお、最終需要項目別生産誘発係数や最終需要項目別生産誘発依存度の算出方法は、地域内表と同様である。

3. 最終需要項目別輸入誘発額

式に 式を代入し整理すると、

$$M = \hat{M}A^*B(F - \hat{M}F^* + E) + \hat{M}F^* \dots\dots\dots$$

従って、最終需要項目別輸入誘発額は 式を計算すれば求まる。

4. 労働力係数

労働力係数は、大阪府については地域内表の数値をそのまま用いた。また、他近畿については近畿各府県産業連関表の数値を合算して求めた。近畿外は、全国の産業連関表の数値から大阪府、他近畿の数値を差し引きして求めた。

5. 諸係数の算出例 ~平成7年大阪府地域間産業連関表 3部門表による作成例 ~

(1) 3部門大阪府地域間産業連関表

3部門大阪府地域間産業連関表

(単位:10億円)

	大阪府			他近畿			近畿外			中間需要計	大阪府		他近畿		近畿外		最終需要計	輸出	輸入	生産額
	第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業		消費	投資	消費	投資	消費	投資				
大阪府	3	50	20	8	4	1	1	7	1	94	74	1	4	0	3	0	83	4	-101	81
大阪府	6	3960	2143	19	2380	686	62	4470	1401	15127	1999	4758	863	352	1851	1259	11083	2582	-2043	26749
大阪府	10	4421	9354	19	1756	1594	28	1018	1159	19358	18945	1973	1885	264	1821	422	25309	960	-758	44869
他近畿	2	139	49	75	341	33	19	154	21	834	182	5	131	14	66	7	405	2	-273	968
他近畿	4	2850	1258	56	8232	2482	144	7631	2146	24802	1193	556	3568	12066	3349	2752	23484	3337	-3448	48175
他近畿	1	702	866	93	4620	5591	49	1421	1015	14358	944	144	21766	570	4350	533	28308	687	-934	42418
近畿外	2	135	37	38	733	69	1774	8539	1033	12361	102	7	269	13	3349	635	4375	35	-2002	14770
近畿外	4	3099	997	77	8300	1861	2268	126204	39802	182612	1406	999	3613	2478	55088	95090	158672	32011	-27080	346216
近畿外	1	389	368	48	2987	1893	2032	63464	91128	162309	799	166	5095	347	227663	16371	250440	7191	-7084	412856
中間投入計	31	15747	15092	434	29352	14209	6377	212908	137705	431855	25643	8610	37195	16104	297539	117068	502161	46809	-43724	937101
雇用者所得	11	5946	16984	91	10098	14799	1395	69898	153939	273161										
企業所得	38	5056	12792	443	8725	13411	6998	63410	121211	232085										
粗付加価値計	49	11003	29776	534	18823	28210	8393	133308	275150	505246										
生産額	81	26749	44869	968	48175	42418	14770	346216	412856	937101										

(2) 投入係数の計算

投入係数(A)

	大阪府			他近畿			近畿外			平均
	第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業	
大阪府	0.036234	0.001866	0.000436	0.007922	0.000089	0.000016	0.000061	0.000021	0.000002	0.000100
大阪府	0.076227	0.148060	0.047756	0.020033	0.049410	0.016163	0.004165	0.012911	0.003393	0.016142
大阪府	0.119308	0.165263	0.208485	0.019800	0.036446	0.037572	0.001878	0.002941	0.002806	0.020657
他近畿	0.019463	0.005212	0.001100	0.077872	0.007080	0.000767	0.001312	0.000445	0.000052	0.000890
他近畿	0.046927	0.106554	0.028028	0.057673	0.170866	0.058519	0.009730	0.022040	0.005198	0.026466
他近畿	0.014910	0.026252	0.019300	0.096565	0.095891	0.131795	0.003294	0.004104	0.002459	0.015321
近畿外	0.018756	0.005062	0.000831	0.039735	0.015218	0.001628	0.120136	0.024664	0.002502	0.013191
近畿外	0.046703	0.115870	0.022224	0.079450	0.172289	0.043879	0.153579	0.364523	0.096406	0.194869
近畿外	0.011015	0.014534	0.008203	0.049168	0.061994	0.044623	0.137576	0.183309	0.220726	0.173203
中間投入計	0.389543	0.588672	0.336364	0.448217	0.609283	0.334962	0.431732	0.614957	0.333544	0.460841
雇用者所得	0.136662	0.222303	0.378528	0.093552	0.209602	0.348874	0.094454	0.201891	0.372865	0.291495
企業所得	0.473795	0.189025	0.285108	0.458231	0.181115	0.316164	0.473814	0.183151	0.293591	0.247663
粗付加価値計	0.610457	0.411328	0.663636	0.551783	0.390717	0.665038	0.568268	0.385043	0.666456	0.539159
生産額	1.000000	1.000000	1.000000	1.000000	1.000000	1.000000	1.000000	1.000000	1.000000	1.000000

意味:投入係数を計算する。

算出方法:表の数値を列ごとに生産額で割る。

$$\begin{aligned} \text{(例)} \quad 3 / 81 &= 0.036234 \\ 6 / 81 &= 0.076227 \\ 50 / 26479 &= 0.001866 \end{aligned}$$

表の数値は小数点以下3桁有しているので、上記計算結果は、四捨五入の関係で整数での計算結果と若干相違する。以下の例において同様。

(3) 逆行列係数の計算

-1 A*

	大阪府			他近畿			近畿外		
	第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業
大阪府	0.036234	0.001866	0.000436	0	0	0	0	0	0
大阪府	0.076227	0.148060	0.047756	0	0	0	0	0	0
大阪府	0.119308	0.165263	0.208485	0	0	0	0	0	0
他近畿	0	0	0	0.077872	0.007080	0.000767	0	0	0
他近畿	0	0	0	0.057673	0.170866	0.058519	0	0	0
他近畿	0	0	0	0.096565	0.095891	0.131795	0	0	0
近畿外	0	0	0	0	0	0	0.120136	0.024664	0.002502
近畿外	0	0	0	0	0	0	0.153579	0.364523	0.096406
近畿外	0	0	0	0	0	0	0.137576	0.183309	0.220726

意味:自地域間取引のみの投入係数を作成する。

算出方法:他地域間取引部分を0とし、自地域間取引部分は表の数値をそのままってくる。

- 2 M

		大阪府			他近畿			近畿外		
		第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業
大阪府	第1次産業	0.681603	0	0	0	0	0	0	0	0
	第2次産業	0	0.158810	0	0	0	0	0	0	0
	第3次産業	0	0	0.021852	0	0	0	0	0	0
他近畿	第1次産業	0	0	0	0.460513	0	0	0	0	0
	第2次産業	0	0	0	0	0.130573	0	0	0	0
	第3次産業	0	0	0	0	0	0.028614	0	0	0
近畿外	第1次産業	0	0	0	0	0	0	0.130576	0	0
	第2次産業	0	0	0	0	0	0	0	0.085037	0
	第3次産業	0	0	0	0	0	0	0	0	0.017681

意味：輸入率を計算し、対角行列の形にする。

算出方法：表で、輸入額を自地域内需要で割る。

(例) $101 / (3 + 50 + 20 + 74 + 1) = 0.681603$
 $273 / (75 + 341 + 33 + 131 + 14) = 0.460513$

- 3 I

1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

意味：「I」単位行列を作成する。

算出方法：左表で示すように、対角線上は1、その他は0の行列を作成する。

- 4 M A*

		大阪府			他近畿			近畿外		
		第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業
大阪府	第1次産業	0.024697	0.001272	0.000298	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000
	第2次産業	0.012106	0.023513	0.007584	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000
	第3次産業	0.002607	0.003611	0.004556	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000
他近畿	第1次産業	0.000000	0.000000	0.000000	0.035861	0.003260	0.000353	0.000000	0.000000	0.000000
	第2次産業	0.000000	0.000000	0.000000	0.007530	0.022310	0.007641	0.000000	0.000000	0.000000
	第3次産業	0.000000	0.000000	0.000000	0.002763	0.002744	0.003771	0.000000	0.000000	0.000000
近畿外	第1次産業	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000	0.015687	0.003220	0.000327
	第2次産業	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000	0.013060	0.030998	0.008198
	第3次産業	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000	0.002433	0.003241	0.003903

意味：「逆行列係数」の計算式の一部を計算。

算出方法：- 2表と - 1表を行列で乗じる。

- 5 I - (A - M A*)

		大阪府			他近畿			近畿外		
		第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業
大阪府	第1次産業	0.988463	-0.000594	-0.000139	-0.007922	-0.000089	-0.000016	-0.000061	-0.000021	-0.000002
	第2次産業	-0.064121	0.875454	-0.040172	-0.020033	0.049410	-0.016163	-0.004165	-0.012911	-0.003393
	第3次産業	-0.116701	-0.161651	0.796070	-0.019800	-0.036446	-0.037572	-0.001878	-0.002941	-0.002806
他近畿	第1次産業	-0.019463	-0.005212	-0.001100	0.957989	-0.003820	-0.000414	-0.001312	-0.000445	-0.000052
	第2次産業	-0.046927	-0.106554	-0.028028	-0.050142	0.851444	-0.050878	-0.009730	-0.022040	-0.005198
	第3次産業	-0.014910	-0.026252	-0.019300	-0.093801	-0.093147	0.871976	-0.003294	-0.004104	-0.002459
近畿外	第1次産業	-0.018756	-0.005062	-0.000831	-0.039735	-0.015218	-0.001628	0.895551	-0.021443	-0.002175
	第2次産業	-0.046703	-0.115870	-0.022224	-0.079450	-0.172289	-0.043879	-0.140519	0.666475	-0.088208
	第3次産業	-0.011015	-0.014534	-0.008203	-0.049168	-0.061994	-0.044623	-0.135144	-0.180067	0.783177

意味：「逆行列係数」の計算式の一部を計算。

算出方法：- 3表、表、- 4表を加減して求める。

- 6 逆行列係数 $[I - (A - \hat{M}A^*)]^{-1}$ ……以下Bとおく。

	大阪府			他近畿			近畿外		
	第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業
大阪府	1.011936	0.000821	0.000242	0.008420	0.000226	0.000066	0.000102	0.000070	0.000018
大阪府	0.090078	1.169082	0.063571	0.037153	0.080843	0.031084	0.012517	0.028708	0.009198
大阪府	0.173309	0.249662	1.273823	0.045719	0.080406	0.065477	0.008787	0.016059	0.008222
他近畿	0.021686	0.007514	0.002091	1.044829	0.005633	0.001132	0.001866	0.001185	0.000289
他近畿	0.080276	0.166698	0.054486	0.081996	1.206875	0.079146	0.024282	0.048688	0.014733
他近畿	0.035662	0.061028	0.036646	0.124909	0.136162	1.158660	0.009678	0.015183	0.006682
近畿外	0.027570	0.017042	0.004558	0.053318	0.030901	0.006848	1.124597	0.039774	0.007924
近畿外	0.132135	0.277556	0.076472	0.191486	0.370909	0.119449	0.281353	1.577722	0.182804
近畿外	0.062605	0.108222	0.039426	0.133715	0.196601	0.102262	0.261664	0.375107	1.322070
列和	1.635258	2.057625	1.551315	1.721545	2.108556	1.564122	1.724846	2.102496	1.551939

意味：「逆行列係数」を計算する。
算出方法： - 5表の逆行列を計算する。

(4)最終需要項目別生産誘発額等の計算

- 1 F*

	大阪府		他近畿		近畿外	
	消費	投資	消費	投資	消費	投資
大阪府	74	1	0	0	0	0
大阪府	1999	4758	0	0	0	0
大阪府	18945	1973	0	0	0	0
他近畿	0	0	131	14	0	0
他近畿	0	0	3568	12066	0	0
他近畿	0	0	21766	570	0	0
近畿外	0	0	0	0	3349	635
近畿外	0	0	0	0	55088	95090
近畿外	0	0	0	0	227663	16371

意味：自地域内需要のみの最終需要表を作成する。
算出方法：他地域間取引部分を0とし、自地域間取引部分は 表の数値をそのままってくる。
備考：第3章本文では、1列の行列になっているが、ここでは地域別かつ最終需要の項目別の数値を得るために、複数列の行列を作成する。

- 2 BF

	大阪府		他近畿		近畿外	
	消費	投資	消費	投資	消費	投資
大阪府	84	6	9	3	15	9
大阪府	3730	5768	2253	1497	6406	4627
大阪府	24840	3774	4438	1475	6125	2775
他近畿	257	50	198	89	247	152
他近畿	2983	1635	6544	14808	10917	8483
他近畿	2126	622	25935	2377	8075	2645
近畿外	352	158	777	501	7937	4738
近畿外	4996	3304	11040	8640	131901	154664
近畿外	2933	1313	11274	3873	323911	58228

意味：「最終需要項目別生産誘発額」の計算式の一部を計算。
算出方法： - 6表と 表の最終需要部分を行列で乗じる。

- 3 MF*

	大阪府		他近畿		近畿外	
	消費	投資	消費	投資	消費	投資
大阪府	51	1	0	0	0	0
大阪府	317	756	0	0	0	0
大阪府	414	43	0	0	0	0
他近畿	0	0	60	6	0	0
他近畿	0	0	466	1575	0	0
他近畿	0	0	623	16	0	0
近畿外	0	0	0	0	437	83
近畿外	0	0	0	0	4685	8086
近畿外	0	0	0	0	4025	289

意味：「最終需要項目別生産誘発額」の計算式の一部を計算。
算出方法： - 2表と - 1表を行列で乗じる。

- 4 B $\hat{M}F^*$

	大阪府		他近畿		近畿外	
	消費	投資	消費	投資	消費	投資
大阪府 第1次産業	52	2	1	0	0	1
大阪府 第2次産業	402	886	59	128	177	236
大阪府 第3次産業	615	244	81	128	112	133
他近畿 第1次産業	4	6	66	15	8	10
他近畿 第2次産業	80	128	617	1903	298	400
他近畿 第3次産業	36	48	793	234	102	126
近畿外 第1次産業	9	13	22	49	710	417
近畿外 第2次産業	126	213	259	588	8250	12834
近畿外 第3次産業	54	84	163	312	7193	3438

意味：「最終需要項目別生産誘発額」の計算式の一部を計算。
算出方法： - 6表と - 3表を行列で乗じる。

- 5 E

	輸出		
	大阪府	他近畿	近畿外
大阪府 第1次産業	4	0	0
大阪府 第2次産業	2582	0	0
大阪府 第3次産業	960	0	0
他近畿 第1次産業	0	2	0
他近畿 第2次産業	0	3337	0
他近畿 第3次産業	0	687	0
近畿外 第1次産業	0	0	35
近畿外 第2次産業	0	0	32011
近畿外 第3次産業	0	0	7191

意味：「最終需要項目別生産誘発額」の計算式の一部を作成。
算出方法： 表のうち、輸出部分を各地域別の行列に形を整える。

- 6 BE

	輸出		
	大阪府	他近畿	近畿外
大阪府 第1次産業	7	1	2
大阪府 第2次産業	3080	291	986
大阪府 第3次産業	1868	313	574
他近畿 第1次産業	21	22	40
他近畿 第2次産業	483	4082	1665
他近畿 第3次産業	193	1250	534
近畿外 第1次産業	48	108	1370
近畿外 第2次産業	791	1320	51829
近畿外 第3次産業	318	727	21523

意味：「最終需要項目別生産誘発額」の計算式の一部を作成。
算出方法： - 6表と - 5表を行列で乗じる。

- 7 - 1 最終需要項目別生産誘発額 B [(F - $\hat{M}F^*$) + E]

	大阪府			他近畿			近畿外			合計
	消費	投資	輸出	消費	投資	輸出	消費	投資	輸出	
大阪府 第1次産業	32	4	7	9	3	1	14	9	2	81
大阪府 第2次産業	3328	4882	3080	2194	1369	291	6229	4391	986	26749
大阪府 第3次産業	24225	3530	1868	4357	1347	313	6013	2642	574	44869
他近畿 第1次産業	252	44	21	132	74	22	240	143	40	968
他近畿 第2次産業	2904	1506	483	5928	12904	4082	10619	8083	1665	48175
他近畿 第3次産業	2090	575	193	25142	2143	1250	7972	2519	534	42418
近畿外 第1次産業	344	145	48	755	452	108	7228	4321	1370	14770
近畿外 第2次産業	4869	3091	791	10781	8053	1320	123652	141830	51829	346216
近畿外 第3次産業	2879	1230	318	11111	3561	727	316717	54790	21523	412856
合計	40922	15007	6809	60409	29905	8114	478683	218728	78523	937101

意味：「最終需要項目別生産誘発額」を計算する。
算出方法： - 2表、 - 4表、 - 6表を加減して計算。

- 7 - 2 最終需要項目別生産誘発係数

	大阪府			他近畿			近畿外			平均
	消費	投資	輸出	消費	投資	輸出	消費	投資	輸出	
大阪府 第1次産業	0.001241	0.000518	0.001843	0.000235	0.000191	0.000202	0.000048	0.000074	0.000061	0.000147
大阪府 第2次産業	0.129762	0.567013	0.868692	0.058986	0.085004	0.072335	0.020934	0.037508	0.025118	0.048726
大阪府 第3次産業	0.944678	0.409995	0.526694	0.117138	0.083634	0.077843	0.020209	0.022570	0.014617	0.081732
他近畿 第1次産業	0.009840	0.005124	0.006063	0.003550	0.004569	0.005352	0.000806	0.001217	0.001021	0.001762
他近畿 第2次産業	0.113234	0.174963	0.136234	0.159373	0.801297	1.013978	0.035689	0.069046	0.042443	0.087756
他近畿 第3次産業	0.081483	0.066750	0.054401	0.675959	0.133041	0.310576	0.026794	0.021518	0.013620	0.077269
近畿外 第1次産業	0.013397	0.016786	0.013677	0.020292	0.028064	0.026809	0.024291	0.036911	0.034910	0.026904
近畿外 第2次産業	0.189881	0.358995	0.222977	0.289855	0.500034	0.327931	0.415581	1.211516	1.320924	0.630665
近畿外 第3次産業	0.112278	0.142836	0.089554	0.298723	0.221088	0.180479	1.064457	0.468018	0.548548	0.752055
合計	1.595794	1.742980	1.920134	1.624111	1.856924	2.015504	1.608808	1.868377	2.001261	1.707017

意味：「最終需要項目別生産誘発係数」を計算する。
 算出方法： - 7 - 1表の各数値を 表の最終需要各列の合計で割る。
 (例) $32 / 25643 = 0.001241$
 $3328 / 25643 = 0.129762$
 $4882 / 8610 = 0.567013$

- 7 - 3 最終需要項目別生産誘発依存度

	大阪府			他近畿			近畿外			平均
	消費	投資	輸出	消費	投資	輸出	消費	投資	輸出	
大阪府 第1次産業	0.394883	0.055304	0.081059	0.108534	0.038165	0.010108	0.175664	0.106796	0.029488	1.000000
大阪府 第2次産業	0.124397	0.182510	0.115161	0.082021	0.051177	0.010887	0.232851	0.164152	0.036844	1.000000
大阪府 第3次産業	0.539905	0.078676	0.041626	0.097105	0.030018	0.006985	0.134013	0.058889	0.012782	1.000000
他近畿 第1次産業	0.260806	0.045602	0.022221	0.136459	0.076057	0.022268	0.247882	0.147302	0.041404	1.000000
他近畿 第2次産業	0.060274	0.031270	0.010028	0.123049	0.267864	0.084737	0.220423	0.167785	0.034568	1.000000
他近畿 第3次産業	0.049259	0.013549	0.004548	0.592726	0.050510	0.029477	0.187946	0.059386	0.012599	1.000000
近畿外 第1次産業	0.023260	0.009786	0.003284	0.051103	0.030600	0.007308	0.489352	0.292567	0.092741	1.000000
近畿外 第2次産業	0.014064	0.008928	0.002284	0.031140	0.023259	0.003813	0.357152	0.409658	0.149702	1.000000
近畿外 第3次産業	0.006974	0.002979	0.000769	0.026913	0.008624	0.001760	0.767139	0.132710	0.052133	1.000000
合計	0.043668	0.016014	0.007266	0.064464	0.031912	0.008659	0.510813	0.233409	0.083794	1.000000

意味：「最終需要項目別生産誘発依存度」を計算する。
 算出方法： - 7 - 1表の各数値を最右列の「合計」の数値で割る。
 (例) $32 / 81 = 0.394883$
 $3328 / 26749 = 0.124397$
 $4882 / 26749 = 0.182510$

(5)最終需要項目別粗付加価値誘発額等の計算

- 1 粗付加価値投入係数行列

大阪府 第1次産業	0.610457	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪府 第2次産業	0	0.411328	0	0	0	0	0	0	0
大阪府 第3次産業	0	0	0.663636	0	0	0	0	0	0
他近畿 第1次産業	0	0	0	0.551783	0	0	0	0	0
他近畿 第2次産業	0	0	0	0	0.390717	0	0	0	0
他近畿 第3次産業	0	0	0	0	0	0.665038	0	0	0
近畿外 第1次産業	0	0	0	0	0	0	0.568268	0	0
近畿外 第2次産業	0	0	0	0	0	0	0	0.385043	0
近畿外 第3次産業	0	0	0	0	0	0	0	0	0.666456

意味：粗付加価値の投入係数の対角行列を作成する。
 算出方法： 表の「粗付加価値計」欄を、左表のように対角行列にする。

- 2 - 1 最終需要項目別粗付加価値誘発額

	大阪府			他近畿			近畿外			合計
	消費	投資	輸出	消費	投資	輸出	消費	投資	輸出	
大阪府 第1次産業	19	3	4	5	2	0	9	5	1	49
大阪府 第2次産業	1369	2008	1267	902	563	120	2562	1806	405	11003
大阪府 第3次産業	16076	2343	1239	2891	894	208	3990	1754	381	29776
他近畿 第1次産業	139	24	12	73	41	12	132	79	22	534
他近畿 第2次産業	1135	589	189	2316	5042	1595	4149	3158	651	18823
他近畿 第3次産業	1390	382	128	16721	1425	832	5302	1675	355	28210
近畿外 第1次産業	195	82	28	429	257	61	4107	2456	778	8393
近畿外 第2次産業	1875	1190	304	4151	3101	508	47611	54611	19956	133308
近畿外 第3次産業	1919	820	212	7405	2373	484	211078	36515	14344	275150
合計	24117	7441	3383	34894	13697	3821	278941	102058	36895	505246

意味：「最終需要項目別粗付加価値誘発額」を計算する。
 算出方法： - 1表と - 7 - 1表を行列で乗じる。

- 2 - 2 最終需要項目別粗付加価値誘発係数

	大阪府			他近畿			近畿外			合計
	消費	投資	輸出	消費	投資	輸出	消費	投資	輸出	
大阪府 第1次産業	0.000758	0.000316	0.001125	0.000144	0.000117	0.000124	0.000029	0.000045	0.000037	0.000090
大阪府 第2次産業	0.053375	0.233228	0.357317	0.024263	0.034965	0.029753	0.008611	0.015428	0.010332	0.020043
大阪府 第3次産業	0.626922	0.272087	0.349533	0.077737	0.055503	0.051659	0.013411	0.014978	0.009700	0.054241
他近畿 第1次産業	0.005430	0.002828	0.003345	0.001959	0.002521	0.002953	0.000445	0.000672	0.000563	0.000973
他近畿 第2次産業	0.044243	0.068361	0.053229	0.062270	0.313080	0.396178	0.013944	0.026977	0.016583	0.034288
他近畿 第3次産業	0.054189	0.044391	0.036179	0.449538	0.088477	0.206545	0.017819	0.014310	0.009058	0.051387
近畿外 第1次産業	0.007613	0.009539	0.007772	0.011531	0.015948	0.015234	0.013804	0.020975	0.019838	0.015289
近畿外 第2次産業	0.073112	0.138228	0.085856	0.111607	0.192535	0.126267	0.160016	0.466485	0.508612	0.242833
近畿外 第3次産業	0.074828	0.095194	0.059684	0.199086	0.147346	0.120281	0.709414	0.311913	0.365583	0.501212
合計	0.940470	0.864173	0.954040	0.938133	0.850491	0.948995	0.937493	0.871784	0.940307	0.920353

意味：「最終需要項目別粗付加価値誘発係数」を計算する。
 算出方法： - 2 - 1表の各数値を「表の最終需要各列の合計」で割る。
 (- 7 - 2表の求め方と同様である。)

- 2 - 3 最終需要項目別粗付加価値誘発依存度

	大阪府			他近畿			近畿外			合計
	消費	投資	輸出	消費	投資	輸出	消費	投資	輸出	
大阪府 第1次産業	0.394883	0.055304	0.081059	0.108534	0.038165	0.010108	0.175664	0.106796	0.029488	1.000000
大阪府 第2次産業	0.124397	0.182510	0.115161	0.082021	0.051177	0.010887	0.232851	0.164152	0.036844	1.000000
大阪府 第3次産業	0.539905	0.078676	0.041626	0.097105	0.030018	0.006985	0.134013	0.058889	0.012782	1.000000
他近畿 第1次産業	0.260806	0.045602	0.022221	0.136459	0.076057	0.022268	0.247882	0.147302	0.041404	1.000000
他近畿 第2次産業	0.060274	0.031270	0.010028	0.123049	0.267864	0.084737	0.220423	0.167785	0.034568	1.000000
他近畿 第3次産業	0.049259	0.013549	0.004548	0.592726	0.050510	0.029477	0.187946	0.059386	0.012599	1.000000
近畿外 第1次産業	0.023260	0.009786	0.003284	0.051103	0.030600	0.007308	0.489352	0.292567	0.092741	1.000000
近畿外 第2次産業	0.014064	0.008928	0.002284	0.031140	0.023259	0.003813	0.357152	0.409658	0.149702	1.000000
近畿外 第3次産業	0.006974	0.002979	0.000769	0.026913	0.008624	0.001760	0.767139	0.132710	0.052133	1.000000
合計	0.047733	0.014727	0.006696	0.069063	0.027109	0.007562	0.552089	0.201997	0.073023	1.000000

意味：「最終需要項目別粗付加価値誘発依存度」を計算する。
 算出方法： - 2 - 1表の各数値を最右列の「合計」の数値で割る。
 (- 7 - 3表の求め方と同様である。)

(6)最終需要項目別輸入誘発額等の計算

- 1 $\dot{M}A^*B$ [(F - $\dot{M}F^*$) + E]

	大阪府			他近畿			近畿外		
	消費	投資	輸出	消費	投資	輸出	消費	投資	輸出
大阪府 第1次産業	12	7	5	4	2	0	10	7	1
大阪府 第2次産業	262	142	87	85	42	9	192	123	28
大阪府 第3次産業	122	34	20	28	11	2	50	28	6
他近畿 第1次産業	19	7	2	33	45	15	46	32	7
他近畿 第2次産業	83	38	12	325	305	101	300	201	42
他近畿 第3次産業	17	6	2	111	44	16	60	32	7
近畿外 第1次産業	22	13	3	50	34	6	615	542	195
近畿外 第2次産業	179	108	28	435	285	48	6524	4902	1801
近畿外 第3次産業	28	15	4	80	41	7	1654	684	255

意味：「最終需要項目別輸入誘発係数」の計算式の一部を計算。
 算出方法： - 4表と - 7 - 1表を行列で乗じる。

- 2 - 1 最終需要項目別輸入誘発額 $\dot{M}A^*B$ [(F - $\dot{M}F^*$) + E] + $\dot{M}F^*$

	大阪府			他近畿			近畿外			合計
	消費	投資	輸出	消費	投資	輸出	消費	投資	輸出	
大阪府 第1次産業	63	8	5	4	2	0	10	7	1	101
大阪府 第2次産業	580	897	87	85	42	9	192	123	28	2043
大阪府 第3次産業	536	77	20	28	11	2	50	28	6	758
他近畿 第1次産業	19	7	2	93	52	15	46	32	7	273
他近畿 第2次産業	83	38	12	791	1880	101	300	201	42	3448
他近畿 第3次産業	17	6	2	734	60	16	60	32	7	934
近畿外 第1次産業	22	13	3	50	34	6	1052	625	195	2002
近畿外 第2次産業	179	108	28	435	285	48	11208	12988	1801	27080
近畿外 第3次産業	28	15	4	80	41	7	5680	973	255	7084
合計	1527	1169	163	2301	2408	205	18598	15010	2342	43724

意味：「最終需要項目別輸入誘発係数」を計算する。
 算出方法： - 1表と - 3表を加算する。

- 2 - 2 最終需要項目別輸入誘発係数、 - 2 - 3 最終需要項目別輸入誘発依存度
 省略……方法は、 - 7 - 2、 - 7 - 3と同様である。

(7)最終需要項目別労働力誘発量等の計算

- 1 労働力係数

	大阪府			他近畿			近畿外		
	第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業
大阪府 第1次産業	0.318129	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪府 第2次産業	0	0.056008	0	0	0	0	0	0	0
大阪府 第3次産業	0	0	0.081883	0	0	0	0	0	0
他近畿 第1次産業	0	0	0	0.317782	0	0	0	0	0
他近畿 第2次産業	0	0	0	0	0.042452	0	0	0	0
他近畿 第3次産業	0	0	0	0	0	0.082736	0	0	0
近畿外 第1次産業	0	0	0	0	0	0	0.295880	0	0
近畿外 第2次産業	0	0	0	0	0	0	0	0.047656	0
近畿外 第3次産業	0	0	0	0	0	0	0	0	0.085859

意味：労働力係数の対角行列を作成。
 算出方法：表等をもとに計算によって求まる数値ではない。計算された数値が、「労働力係数」として掲載されているので、これを利用。係数を対角行列の形にする。

- 2 - 1 最終需要項目別労働力誘発量

	大阪府			他近畿			近畿外			合計
	消費	投資	輸出	消費	投資	輸出	消費	投資	輸出	
大阪府 第1次産業	10	1	2	3	1	0	5	3	1	26
大阪府 第2次産業	186	273	173	123	77	16	349	246	55	1498
大阪府 第3次産業	1984	289	153	357	110	26	492	216	47	3674
他近畿 第1次産業	80	14	7	42	23	7	76	45	13	307
他近畿 第2次産業	123	64	21	252	548	173	451	343	71	2045
他近畿 第3次産業	173	48	16	2080	177	103	660	208	44	3510
近畿外 第1次産業	102	43	14	223	134	32	2138	1279	405	4370
近畿外 第2次産業	232	147	38	514	384	63	5893	6759	2470	16499
近畿外 第3次産業	247	106	27	954	306	62	27193	4704	1848	35448
合計	3137	985	450	4547	1760	483	37257	13804	4954	67377

意味：「最終需要項目別労働力誘発量」を計算する。
 算出方法：- 1表と - 7 - 1表を乗じる。

- 2 - 2 最終需要項目別労働力誘発係数、 - 2 - 3 最終需要項目別労働力誘発依存度
 省略……方法は、 - 7 - 2、 - 7 - 3と同様である。